

令和6年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	金沢大学	タイプ	A
事 業 名	日本と EU 諸国の先端科学の展開に向けた数物科学を牽引する人材育成プログラム		
海 外 の 相 手 大 学	チェコ工科大学（チェコ）、レーゲンスブルク大学（ドイツ）、カールスタード大学（スウェーデン）、アイントホーフェン工科大学（オランダ）		

〔評価コメント〕

本プログラム計画は、EU 諸国のチェコ工科大学、アイントホーフェン工科大学、カールスタード大学との数物科学分野における交流実績を土台として、全学の交流実績を有するレーゲンスブルク大学にも拡大し、先端科学の展開における国際ネットワークの形成を企図するものである。この枠組みにおいて貴学が EU 諸国間との繋がりを深めるハブ機能の役割を果たし、コチュテル型ダブル・ディグリー・プログラム（DDP）による連携教育を推進し、国際性と幅広い視野を有する人材の育成を目指した意欲的な取組である。

数物科学分野は、半導体、AI、量子技術の基盤となる数理モデルや計算機シミュレーションの基礎となる。この分野において、単一論文型 DDP（コチュテル型）により国際連携教育を推進し、EU 全体の教育プログラムである Erasmus+への展開を含め、質保証の伴った国際標準の教育プログラムの構築にも繋がり、研究型国際連携を模索する多くの大学のよき見本ともなる。

また、博士課程前期を対象とする本事業を活用し、コチュテル型の DDP で学位を取得して、博士後期課程へ進学した場合には早期修了を可能とする「金沢大学モデル」を構築することで、DDP の参加者を増やすとともに、後期課程への進学を促すことを計画している。

さらに、密接な共同指導を実現するために、オンラインを積極的に利用するとともに、連携大学とプログラムの枠組みの共通化手段としてマイクロクレデンシャルを導入しており、デジタル修了証明としてデジタルバッジ発行の実績も有している。

一方で、貴学がハブとなって数物科学分野における国際ネットワークを構築し、先端科学の展開の交流拠点となるという計画は貴学にとって有用であることは明確であるが、EU 諸国の大学にとって、どの程度の魅力があるかは必ずしも明らかではない。相手大学の相互の交流促進強化も含めて、真の国際ネットワークとして機能するよう、ネットワーク内の研究者交流や学生交流などを通じて相互連携の実質化を目指していく努力が求められる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。